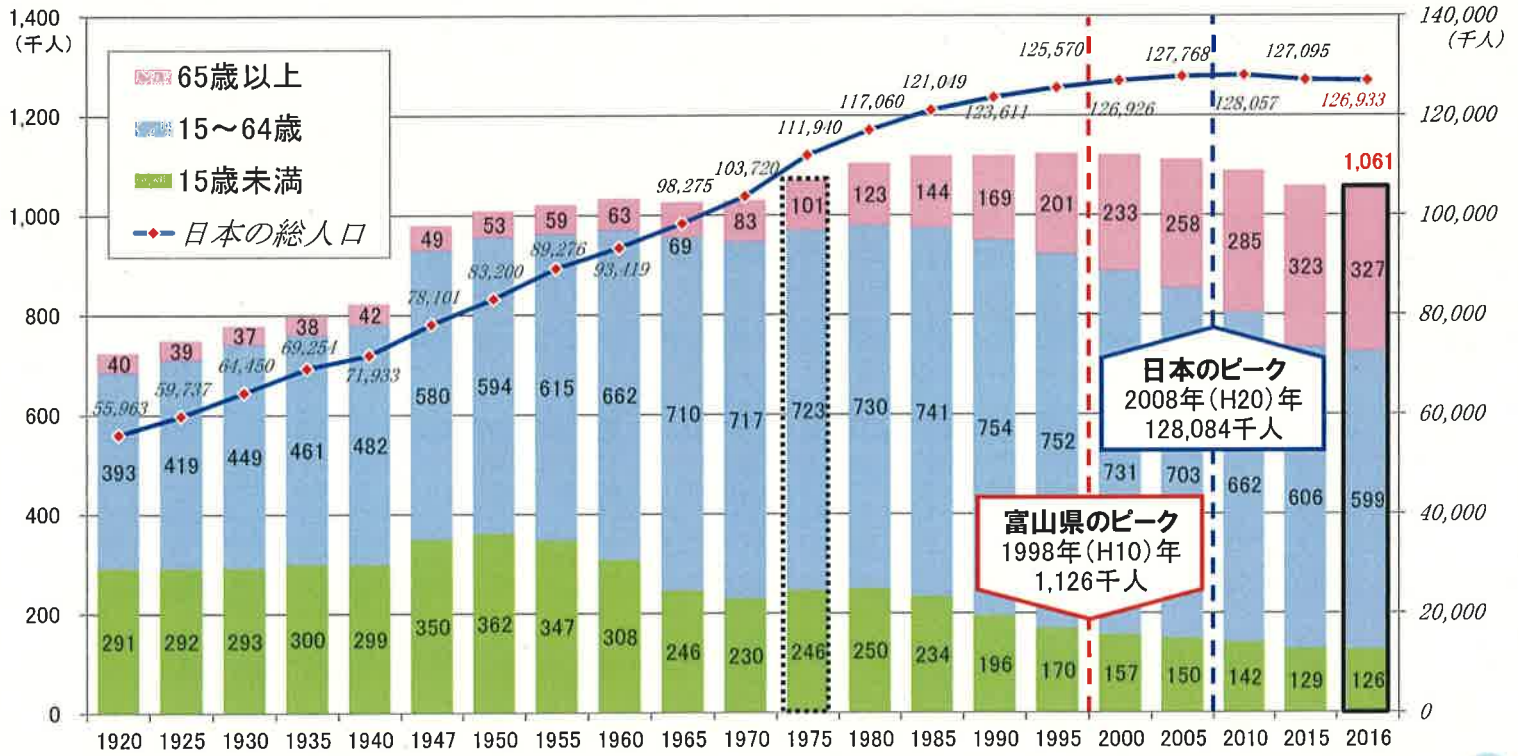


富山県の人口動態について

進む少子高齢化 ～我が国と富山県のこれまでの人口推移～

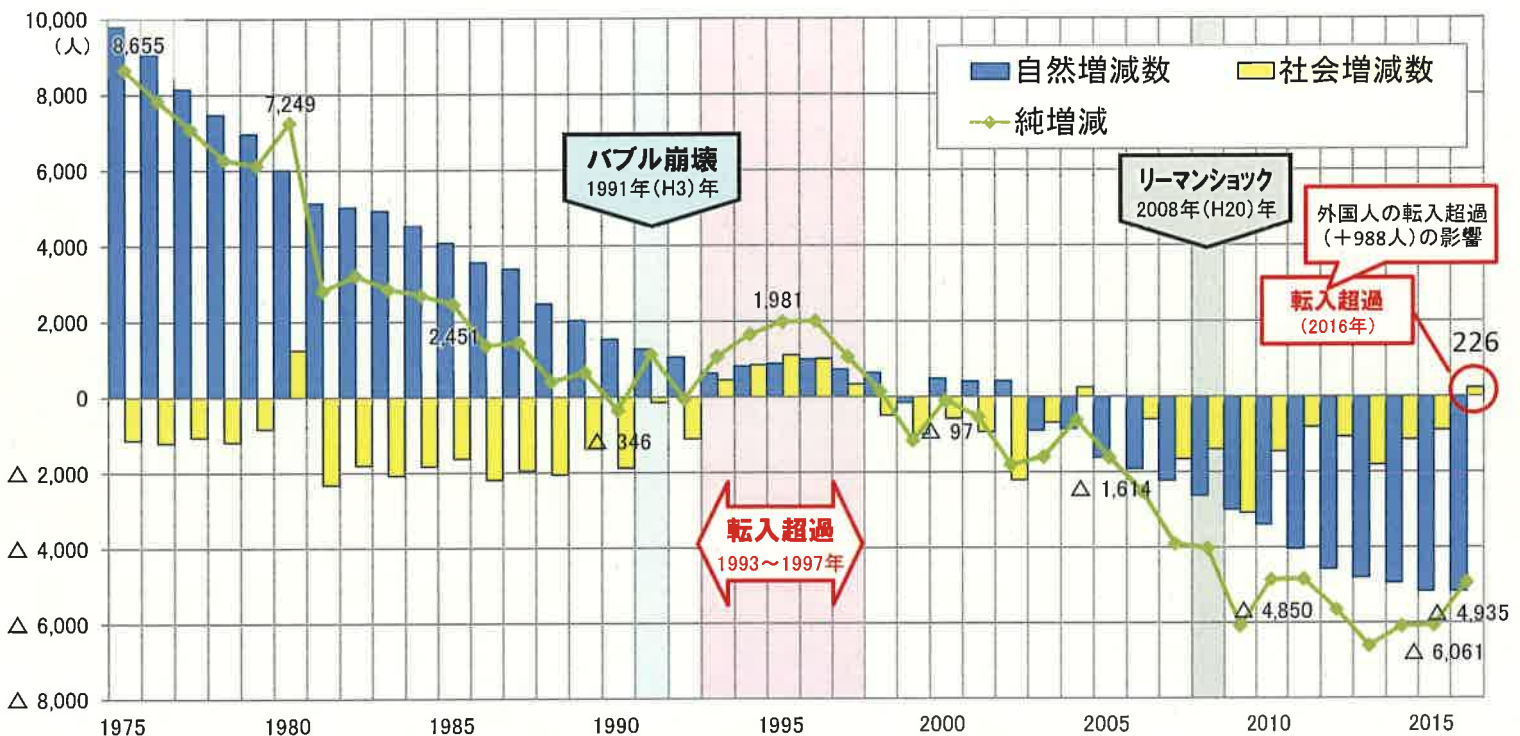
- ★ポイント① 富山県人口は、全国より10年早い1998(H10)年をピークに減少に転じる
- ★ポイント② 現在の県人口は1975(S50)年並み⇒構造的には年少は半分で老年が3倍に！
- ★ポイント③ 生産年齢人口(15～64歳)は毎年1万人以上も減少



(出典) 総務省統計局「人口推計」、富山県「人口移動調査」(何れも各年10月1日現在)

富山県の人口動態(自然動態+社会動態)の推移

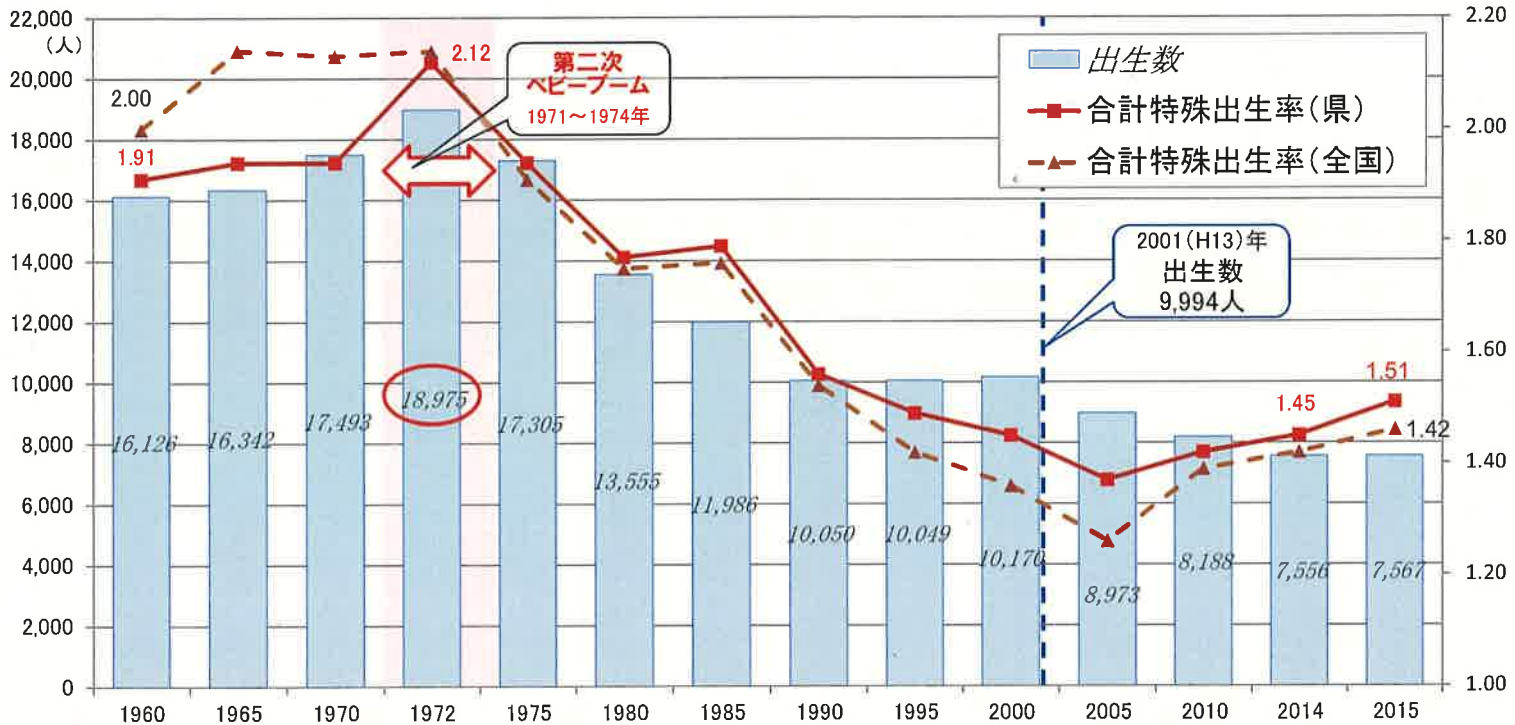
- ポイント① 自然動態(出生-死亡)は減少傾向で、マイナス幅が増加傾向
- ポイント② 社会動態(転入-転出)は、外国人の社会増の影響もあり、11年ぶりに転入超過
- ポイント③ 2005(H17)年以降は自然+社会動態のマイナスが相まって人口減少に拍車



(出典) 富山県「人口移動調査」(前年10月1日～当年9月30日)

出生数・合計特殊出生率の推移

- ★ポイント① 富山県の出生数は1972(S47)年をピークに減少傾向が続く
- ★ポイント② 出生数は2001(H13)年に1万人を下回り、2014(H26)年には最低を更新
- ★ポイント③ 合計特殊出生率も第二次ベビーブーム以降は下降するも近年は上昇の兆し

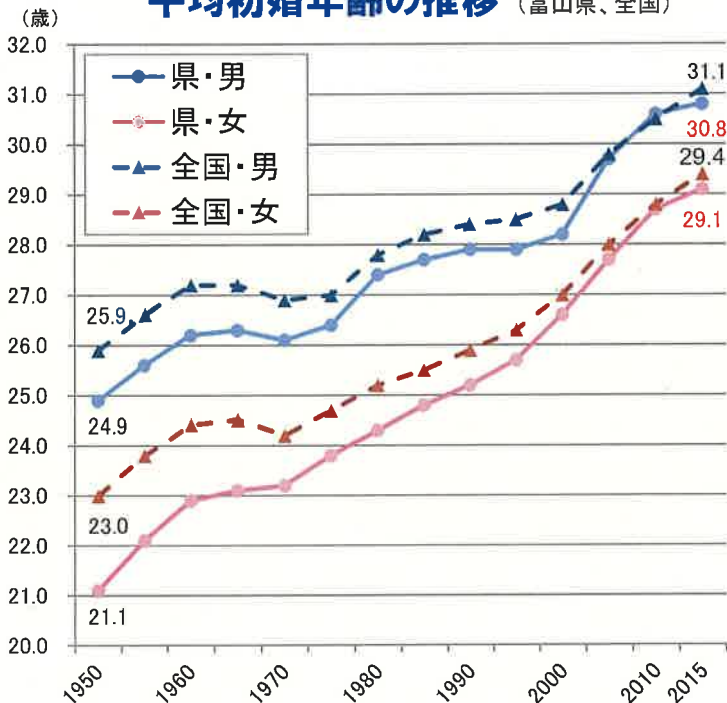


(出典) 厚生労働省「人口動態調査」(年次)

婚姻状況の推移

- ★ポイント① 平均初婚年齢は男女ともに全国より低いものの長期的には上昇(2015年は改善)
- ★ポイント② 生涯未婚率も上昇傾向で、特に1990(H2)年以降、男性の比率が急上昇
- ★ポイント③ こうした晩婚化と未婚化の進行が現在の少子化に影響

平均初婚年齢の推移 (富山県、全国)



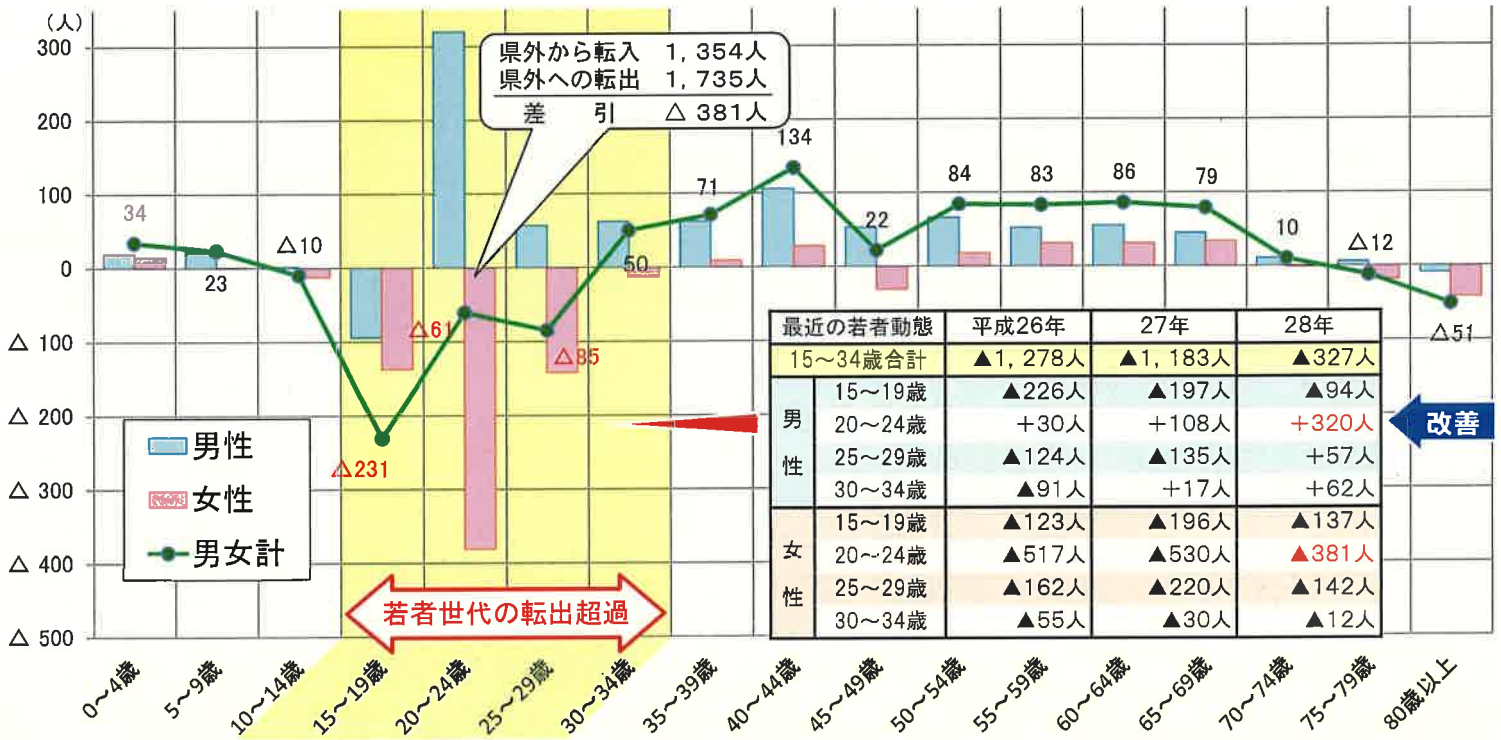
生涯未婚率の推移 (富山県、全国)



(出典) 厚生労働省「人口動態調査」、国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」、総務省「国勢調査」(何れも年次)

年齢（5歳階級）別の社会動態（転入—転出）の状況

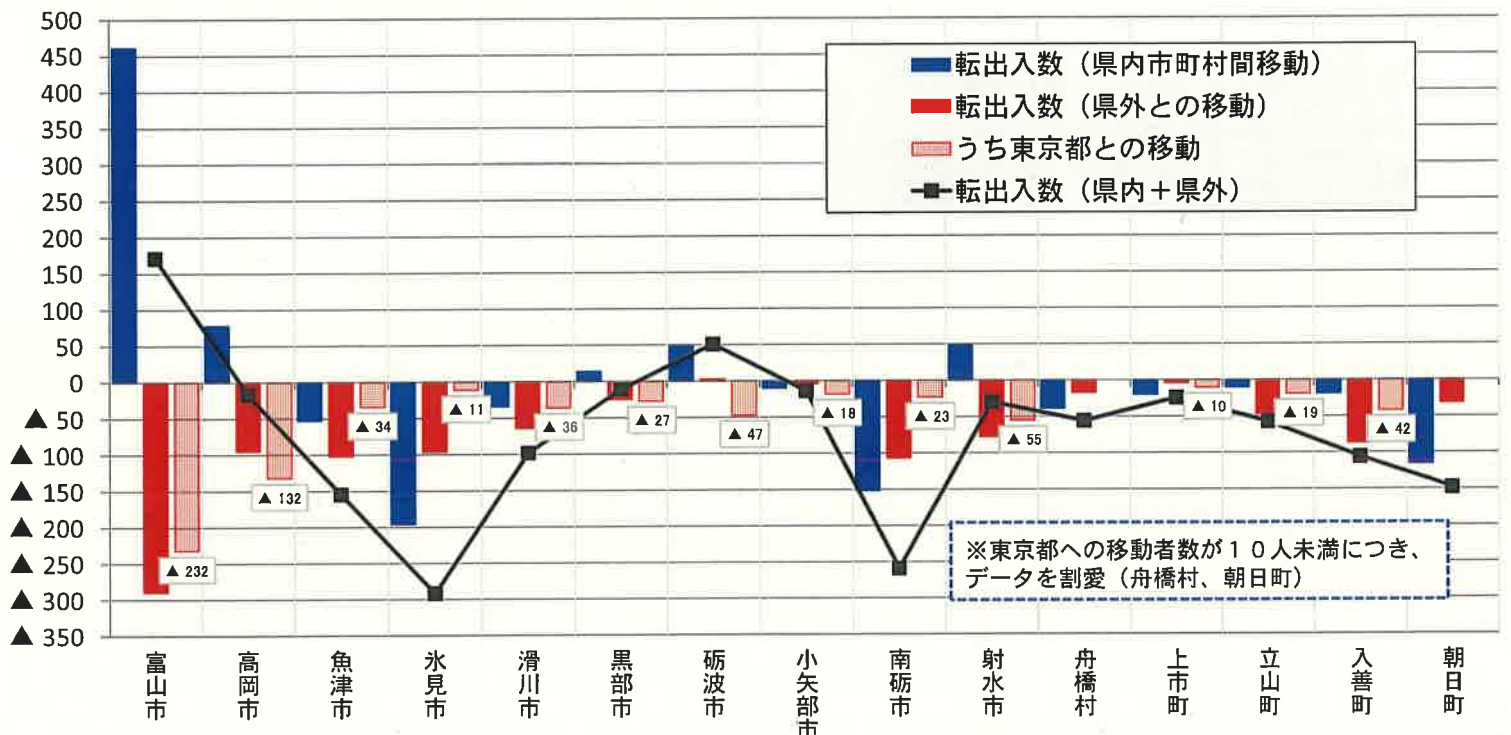
- ★ポイント① 本県の年齢別社会動態の特徴は 若者世代(15~34歳)の転出超過
- ★ポイント② 特に 20~24歳の女性の転出超過(△381人)が顕著
- ★ポイント③ 男性は特に20~24歳で社会移動が改善し 大半の世代で転入超過



(出典) 富山県「平成28年人口移動調査」(平成27年10月1日~28年9月30日)

県内市町村の社会動態（2015年：日本人の国内移動状況）

- ★ポイント① 県内と県外を合わせた社会動態は、富山市、砺波市で転入超過となっている。
- ★ポイント② 県外との移動では、砺波市(+3人)のみ転入超過。
- ★ポイント③ 東京都との転出入状況は、県内全ての市町村で転出超過。



(出典) 総務省「住民基本台帳調査(参考表)」(期間: 2015年1月~12月)